

# AI(アグリ・インフォマティクス:農業情報科学)を活用した農芸品の栽培技術開発・継承・高度化

歴史・基盤

みかん



県産出額2位 (236億円)  
単価、数量日本一

いちご



県産出額5位 (108億円)  
「紅ほっぺ」の単価第2位

篤農家の「匠の技」による  
農産物の品質向上  
「農芸品」の確立



問題点

生産構造の高齢化

日本は平均年齢66.1歳

技術そのものが  
「暗黙知」であり、  
産地での共有・技能  
継承が行われていない

現状

時流

急速な農業IT、  
スマートアグリ的发展

農村回帰志向

そこで!



農芸品生産のための匠の技の継承

～ 本事業により「暗黙知」を「形式知」に～

作物の生育ステージごとの栽培管理のポイントと最適な環境要因が明らかに

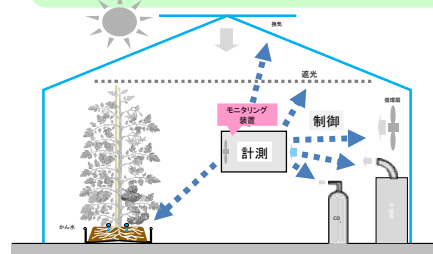
AI学習システムによる技能継承・技能高度化

篤農家の暗黙知を形式知化し、栽培技術の学習期間を短縮

- AIシステムは「気づき」をベースとした経験の蓄積による知識の形成を促し、熟練者の問題発見、問題解決能力を早期に身に付けるための学習プロセスを支援する仕組み。
- 「どんな状況で、どう判断するか」という問題及び正解と合わせ、篤農家の「気づき」を蓄積・共有することにより、匠の技を、経験の浅い就農者にノウハウ継承するとともに、栽培技術の高度化を促進する。

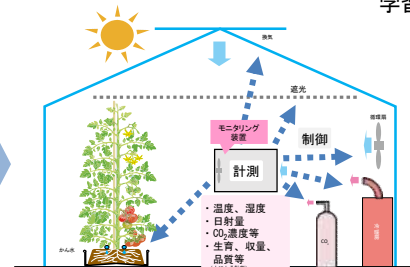
環境モニタリングとデータ解析

温度、湿度...などのビッグデータ解析により  
最適栽培技術を見える化し、伝承可能な技術に



悩み、つまづき、思考錯誤  
(収量や品質が劣る生産者)

比較



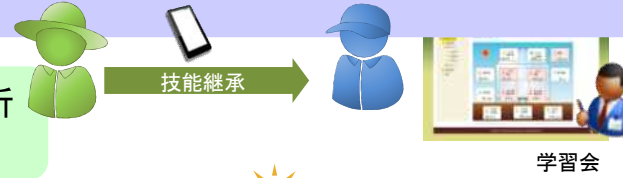
適確な気づき、判断、行動  
(篤農家)

病虫害(いちご炭疽病)の  
早期発見プログラムの開発

致命的なダメージとなる炭疽病の発生を  
未然又は早めに発見し被害の拡大を防ぐ

在来作物の技能継承

消滅の危機に瀕している在来作物の栽培を継承、収量の向上・安定化



移住・定住  
者数の増加

担い手  
増

農業の活性化・農業産出額の向上

産業の活性化・しごとづくり

# AIによる営農指導支援

AI（アグリ・インフォマティクス）を活用し、高い生産技術を持つ篤農家の技術・ノウハウをデータ化し、一般の農家や新規就農者の生産管理や技術習得に活用できるようにすることで、農業生産性の向上と技術の継承を図る。

## 【農業生産指導システム（農業情報統合管理プラットフォーム）】

